令和８年度第２回知立市人にやさしいまちづくり推進協議会　議事録

１．人にやさしいまちづくり推進計画の進捗状況について

資料１：人にやさしい街づくり対応事業調査票

【質問】高橋委員

総合福祉センターで洋式トイレへの改修工事が始まり大変ありがたい。高齢者や障がい者の利用が多い施設であり、長年の要望が実現した。この事業が資料に掲載されていないが、本計画の対象事業としての位置付けであるのか伺いたい。

【回答】長寿介護課長

洋式化により、多くの方が利用しやすくなるものであり、人にやさしいまちづくりの理念にも合致する事業であると認識している。本改修も事務局に報告すべきだった。

【質問】村井委員

スペース的な制約はあると思うが、八橋かきつばた園のトイレの扉を引き戸にしてバリアフリーを進めるとよい。多目的トイレの目的外利用について課題が起こったときにどう運用するのかを考えておくとよい。三河知立駅の扉がステンレスで味気無いため、地域の景観と調和したデザインとしてほしい。また、男子便所と女子便所の広さが確保できているので、トイレの広さなどの情報を入口に表示すれば利用者が自分の身体の大きさに合っているか判断しやすくなる。

学校のバリアフリー工事についても、改修が完了した際には実際に改修した箇所を子ども達が学べるような機会があると良い。

【回答】地域活動推進課長

トイレの引き戸について、設計段階であるため引き戸が可能かを検討する。多目的トイレも併設しており、利用環境を考慮して整備を進める。

【回答】都市開発課職員

多目的トイレは昨年施工したので、新しく設置するときに参考にする。多目的トイレの入口にトイレの平面図を表示している。

【回答】学校教育課長

バリアフリー化によりトイレなど学校の施設を子どもたちが気持ちよく使えるようになっていると実感していると思うが、子ども達と一緒に見学しながら学ぶことは実施していないのが現状のため、総合的な学びにつなげることができるとよい。また、学校にも周知していく。

【質問】永井委員

過去に大人が使用できる簡易ベッドはあるかと質問したところ、設置したらトイレを目的外使用されてしまうため、設置しないと回答をいただいた。しかし、障がい者はおむつの交換や着替えをするためのベッドが必要になることが多いため、多目的トイレを利用したい時にベッドの耐荷重などの目安になるような表示はあるか。

【回答】事務局

担当課へ確認し、後日回答する。（別紙回答書参照）

【感想】蔭山会長

昔、カンボジアにトイレがなく、学校にトイレを設置したときは、日常的に鍵がかかっ

ていた。目的外使用には指導をしていくこととして、それ以外のメリットが大きい。回数は少なくても必要な時に役に立ったらいいと思うので、障がいや不自由さを持っている人が使いやすい施設を整備してほしい。

【感想】後藤委員

都市部で多目的トイレが適切に利用されていない事例を見た。世界には水洗トイレがない国もあるのに、日本人のモラルが向上してほしい。

【感想】蔭山会長

良識のない行動が問題になることもあるが、障がい者や高齢者が不利になることなく知恵を出し合って生きていきたい。

２．知立市障がい者計画（はっぴいぷらん）の進捗状況について

資料２：第４期知立市障がい者計画『はっぴいぷらん』の重点的な取組

【感想】永井委員

福祉健康まつり・草の根フェスティバルにより、障がい者の福祉について市民の理解が深まったと評価しているが、力を入れていきたいということは感じるが、現状では十分とは言えず、市民に広がっていない。

【感想】蔭山会長

なかなか費用を投じても障がいの理解を深めるところまではいかない。イベントを行ってお互いの理解に役に立ったという意気込みとして考えればよいのでは。

３．次期障がい者計画案について

資料３：次期障がい者計画案

【質問】永井委員

リングＣのリーフレットからどのように計画に掲載するのか。

【回答】事務局

団体名の下にある設立の趣旨が書かれているところを抜粋する。リングＣは５団体なので、現在の事業の表にはないけやきの会やかとれあ福祉ネットを加えることを検討する。掲載内容については各団体へ確認しながら調整する。

【感想】永井委員

現在の表は事業と内容が整理されており、そこに団体名や取組を記載するのは違和感がある。現在活動している育成会の紹介を別枠で掲載するならよい。

【提案】会長

団体の掲載方法は事務局で整理し、その内容を永井委員に確認していただくことでよろしいか。団体の紹介を周囲の人が見て、団体に加入するかどうかは考えなくていい。各団体に内容を確認してください。

【応答】永井委員

承知した。